

青年
対象

主催事業レポート

玄海青年ドリカム村

2012年5月13日(日)

2012年の「玄海青年ドリカム村」は昨年に引き続き、近隣地域の方より畑をお借りして季節の野菜作りにチャレンジします。春から晩秋までに8回開催し、日帰りや1泊2日で様々なことを体験したり、参加者相互の交流の場となることを目指しています。

その1回目はなんと、参加者21名、18歳から40歳までの若者が集い大盛況。好天に恵まれ、時折爽やかな5月の風が頬をなでる中、午前・午後ともに全員で畑仕事に精を出しました。班ごとの畝に、午前は薩摩芋や胡瓜、ミニトマト等の苗植えを、午後は葉物野菜やラディッシュ等の種蒔き、大事な苗の風倒予防に添木設置を行いました。さらに、畑の傍らを流れる水路からバケツやジョウロで水を汲み上げ、苗や種の健やかな成長を祈りつつ畑に散水しました。

昨年からの継続参加者も多く、各所各シーンで和やかな会話も弾み初参加の皆さんもリラックスした時間を過ごしていました。早くも「収穫が待ち遠しい」「空気の美味しい所で土に触れることが出来て楽しかった。次回以降が楽しみ。」等の声が皆さんから上がっていました。

今回は成長の早い夏野菜を多く植えましたので、次回から何が収穫できるか本当に楽しみです。皆さんどうぞ奮ってご参加下さい。お待ちしております。



児童
対象

玄海わんぱく自然塾

2012年5月19日(土)~20日(日)

今年度の玄海わんぱく自然塾は16名の元気な子どもたちが集まりました。これから1年間を通して一緒にキャンプをする仲間との出会いのキャンプでした。

キャンプのはじまりは、自分の手帳を受け取って、キャンプのきまりを貼ったり友達と1年間活動をするための目標を書いたりしました。

午後からはテントを設営して寝床を作りました。初めてテントに泊まる子ども達も多く、テントを出たり入ったりしながら楽しそうな姿を見せていました。

野外炊飯では、全員が交代でナタを使ってまき割りを体験して、ナタのつかい方を覚えました。火が起きたら調理開始！晩ごはんのカレーライスも班のみんなで分担して作りました。自分達で作ったカレーはとってもおいしかったようで、みんな残さずたくさん食べていました。

2日目は、いよいよカヌーの体験です。みんなで体操やこぎ方を練習したら、いよいよ貯水池へ出発です！！貯水池の上ではいろいろなこぎ方をしてみたり、レースをしたりして、思いっきり初夏の自然を楽しみました。



親子
対象

とんだ自然楽校

~火おこし体験と野外クッキング~

2012年6月10日(日)

今回、火おこしは2つの方法を体験しました。舞いぎり式とひもぎり式です。舞いぎり式は、木は焦げるもののなかなか火をおこすことで参加者みなさん大変そうでした。

ひもぎり式は、みんなで協力し、交互にひもを引き合せて、火をおこすことができました。みんなで頑張っておこした火を使って、カレーライスを作りました。飯ごうでお米を炊くのは、みなさん難しそうでしたが、とってもおいしそうなおカレーが出来ていました。

カレーを食べたあとは、玄海青年の家所員、かめさんによる火まつわるお話がありました。「火」と聞いて何が思い浮かぶか発表したり火を使えるのは地球に住む生き物で人間だけだけれど、使い方をまちがえれば火事になってしまうなど、火について勉強もしました。



玄海所員の小話

連載もいよいよ第20回目となりました。「玄海所員の小話」は玄海青年の家で働く所員の日頃気になることや、みなさんに伝えたいことなどをお話しています。今回は『かめさん』がお届けします。

『夏！海へお出かけの前に。』

空を仰げば輝く太陽、真っ白な入道雲。そして目の前に広がるは青い海——。長雨の季節が終わると、本格的な夏がやってきます。夏、といえば…「やっぱり、海！」という方は多いことでしょう。海水浴や磯遊びなどで海辺へ出かける機会も増える季節。

海辺には砂浜や岩場などの変化に富んだ地形が広がり、大から小まで多彩ないきもの達が暮らしています。多くの方が訪れる観光地や海水浴場は、いつも(夏は特に)綺麗に清掃されています。大きなものが沢山転がっていたり、ゴミで砂浜が埋め尽くされている光景は、大半の皆さんはご覧になったことはないでしょう。

…ですが、小さな島や田舎の海辺は、今や流れてくるゴミで埋まろうとしています。ペットボトルやプラスチック容器などの生活用品。大きな魚網や発泡スチロール、アナゴ漁に使う籠などの漁業ゴミなどなど、いきもの達の多様さに負けないほどのゴミが、青々と広がる美しい海からは想像も出来ないほど漂い、流れています。それは身近な海辺だけではなく、日本中、そして世界中の海も。人の世界では「グローバル」「ボーダレス」が最近の潮流ですが、もともと昔から自然＝地球には境目はなくグローバル&ボーダレス。私たちの毎日、日々の暮らしはこの星の営みに直結しています。



玄海 -第25回- 図鑑



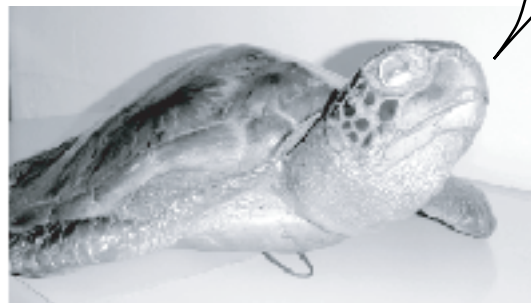
玄海青年の家の玄関にはウミガメの剥製があるのをみなさんは知っていますか？「アオウミガメ」という種類のウミガメです。

こちらは90~100cmまで大きくなり、朝日模様になっているのが特徴です。子どもの頃は海の草・藻や、カニなどを食べて生活しています。ですが、大人のカメになると草食性になり、海の海藻を食べて生活をします。ですので、水族館では、アオウミガメのえさでレタスをあげたりしているんですよ。

水族館でよく目にするアオウミガメですが、絶滅のおそれがあるといわれています。今まで、地球で生きていた生き物がいなくなってしまうのは、なんだかさびしいですね。

剥製ですが、もしアオウミガメを間近で見たい！という方は、ぜひ、玄海青年の家にお越しください。おまちしております。

みんな見に来てね★



★お知らせ★

ホームページをリニューアルしました！



インターネットを介して、青年の家をご利用いただく皆様へサービスの向上を図っていきたく考えております。主催事業のご案内や日々の活動、かぐめよし少年自然の家の施設情報も公開しておりますので、多くの方々にご覧頂きたいと思っております。是非、新しいホームページをご覧ください。

ホームページ www.genkai-seinen.com/

(今までと同じです)